

学会参加報告書

R21-065 藤橋 亜衣

学会名：韓国放射線技術学会

2024 年 3 月 14 日から 17 日に韓国のソウルで開催された 2024 KIMES & 58th SRTA International Conference に参加した。3 月 15 日は病院見学に参加した。見学をしたサムスン・ソウル病院には最新の機械が設置されていた。一般撮影では撮影方法を設定すると天井式 X 線保持装置が自動で適切な位置に移動することが出来る。放射線技師の動きを最小限にし、素早く撮影を行える。撮影角度も自由に設定が可能のため体が不自由な患者に対しても撮り直しをしなくて済むため無駄な被ばくを抑えられる機能があった。がん教育センターではがん患者と闘病を助ける家族の生活の質を向上させるためにさまざまな工夫がしてあった。例えばがんを患った患者がアートを通して気持ちを表現することが出来るようアートに挑戦する機会がある。芸術作品を自ら作ることで自分に自信を取り戻し達成感を味わうことを目的として実施されている。また患者自ら家族とのコミュニケーションの取り方や化学療法後の体調管理などを学ぶことが出来る施設が病院内にあった。空間は図書館のようなゆったりできる空間だった。3 月 16 日は研究発表を傾聴した。発表内容には放射線照射位置の正確性を確保するために外部放射線療法で使用されているスキンマーカの研究や CT の再構成法である AiCE、AIDR3D、FBP の違いによる画像変化の研究について発表されていた。AiCE と FBP ではゼミで研究していた内容と類似していたため非常に興味深かった。今回の学会では日本の診療放射線技師も英語で発表されていた。将来研究内容を海外で発表出来るように英語力を身につけたいと思った。午後からは最新機器の展示会に参加した。韓国で発売されている胸部レントゲン撮影装置やポータブル X 線撮影装置や乳房撮影装置を見学した。ポータブル X 線撮影装置は FPD が軽くて持ちやすく FPD を奥まで入れなくても自動で充電できる位置まで入るシステムがあった。夕食では学会に参加した各国の皆様と食事をさせていただいた。さまざまな国の人と関わり、楽しい時間を過ごすことが出来た。2 日間を通してとても良い刺激をもらい、さらに放射線について勉強したいという意欲が強くなった。学会に参加させていただき貴重な経験をすることができた。